

2-12

ボランティアコーディネーター配置による変化と成果

～施設と地域の架け橋として～

ボランティア活動支援

地域と施設の繋がり

特別養護老人ホーム アトリエ村

発表者：ボランティアコーディネーター 布施川香保利	共同研究者：ボランティア委員長 小島信彦
所在地：東京都豊島区长崎4-23-1	
TEL：03-5965-3400	E-mail：atorie@toshimaj.or.jp
FAX：03-5965-3403	URL：www.toshimaj.or.jp

今回の発表の施設 またはサービスの 概要	豊島区社会福祉事業団・アトリエ村は平成6年6月に80床の特養とデイサービスセンターを開設し、現在は地域包括支援センターと居宅介護支援事業所を併設した高齢者施設です。「真心と思いやりの花咲くアトリエに」がキャッチフレーズです。
----------------------------	--

<p>〈取り組んだ課題〉</p> <ul style="list-style-type: none">○ ボランティアの受け入れ促進ときめ細かな対応○ 社会福祉協議会等への情報発信と積極的な関わり○ ボランティア活動の活性化○ 地域と施設との繋がり強化○ ボランティアに対する職員の意識啓発 <p>〈具体的な取り組み〉</p> <ul style="list-style-type: none">○ 活動中のボランティアに対する日頃の声掛けや職員からの情報に基づく活動プログラム見直し等のフォローアップ○ ボランティアコーディネーター自身の地域イベント等への積極的な参加・協力を通じたボランティアの発掘、及び様々な情報に対する機敏な対応○ 地域公共施設・掲示板・広報紙等を活用した広報活動○ ボランティア活動参加へのきっかけ作りを目的とした「ボランティア講習会」(年2回)の開催○ ボランティアとの意見交換及びボランティア相互の交流を目的とした「ボランティアの集い」(年2回)の開催○ ボランティア活動プログラムの充実と職員への周知強化○ 地元町会との共催による車椅子操作講習会の開催○ 地域の保育園や小学校との定期的な交流○ 地元の資源回収や防災訓練への参加○ 社会福祉協議会等からの紹介・要請に対する積極的な受け入れ	<p>〈活動の成果と評価〉</p> <ul style="list-style-type: none">○ ボランティア数の増加<ul style="list-style-type: none">・ H17年度:1750人 → H20年度:2759人○ ボランティアの定着率アップ<ul style="list-style-type: none">・ 対応窓口の一本化により、安心できる活動環境の構築が出来た・ ボランティア委員とボランティアコーディネーター間の情報共有により、ボランティア活動状況を的確に把握出来た・ ボランティア自身の活動ニーズに応えられるようになった○ 利用者の生活がより楽しく、豊かになった。(音楽・ダンス・演芸・朗読・傾聴・園芸など)○ 職員とボランティア相互のニーズを汲み取り、その情報を共有することにより、現場職員のボランティアに対する対応に余裕と信頼が生まれ、より大きな感謝の気持ちで受け入れられるようになった。○ 社会福祉協議会等からの信頼性が確立し、紹介が増えた。<ul style="list-style-type: none">・ 都立高校の奉仕体験活動・ 企業のボランティア研修・ ボランティア希望者(個人)○ 地域の方に施設を身近に感じてもらえるようになった。 <p>〈今後の課題〉</p> <ul style="list-style-type: none">○ ボランティア相互の横の繋がり強化と発展○ 地域住民やボランティアのニーズに応えた講習会の開催○ ボランティアとの交流による、より充実した利用者の生活<ul style="list-style-type: none">・ 地域行事・活動への参加・ 地域商店街での買い物
---	---

【メモ欄】